

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月30日

上場会社名 キーウェアソリューションズ株式会社  
 コード番号 3799 URL <http://www.keyware.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 八反田 博  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理室担当 (氏名) 矢光 重敏  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月8日

上場取引所 東

TEL 03-5369-1118

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	4,566	—	△354	—	△438	—	△299	—
20年3月期第1四半期	3,810	40.2	△95	—	△177	—	△224	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	△32.84	—
20年3月期第1四半期	△24.63	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	12,557	7,777	7,777	61.6	61.6	848.46
20年3月期	11,615	8,175	8,175	70.4	70.4	897.43

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 7,729百万円 20年3月期 8,175百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	5.00	—	17.00	22.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	5.00	—	10.00	15.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	11,089	17.0	△238	—	△278	—	△334	—	△36.66
通期	25,628	16.8	1,628	56.0	1,670	56.1	1,014	70.9	111.31

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有  
 新規 1社(社名 株式会社クレヴァシステムズ) 除外 1社(社名 )  
 (注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 (注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無  
 (注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)  
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 9,110,000株 20年3月期 9,110,000株  
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 30株 20年3月期 30株  
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 9,109,970株 20年3月期第1四半期 9,110,000株

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の日本経済は、原油、鉄鉱石、小麦等の原材料価格上昇によりガソリン、食料品等の日用品や自動車等の耐久消費財価格が上昇していることが、家計の購買力の低下、企業収益の低下と設備投資の減少につながっております。これに加え、米国のサブプライムローン問題の長期化を背景に、輸出鈍化や企業マインドの悪化を招いていることから、調整色の強い状況が続きました。

情報サービス産業におきましては、売上高については、年初来5ヶ月連続で対前年同月比での増加が続いております。また、売上高全体の半分弱を占める「受注ソフトウェア」も、金融業向けが牽引し、2月以降同比の増加が4ヶ月連続しております。

こうした環境の中、当社は4月にビジネスソリューション事業本部直下の公共事業部と通信事業部を統合し、社会インフラ事業部を設置いたしました。設置目的は、公共事業部が強みとする防災無線分野、高速道ETC分野、宇宙分野等の通信系システムに加えメディア向けのコンテンツ編集技術分野のノウハウと、通信事業部が強みとする主要通信キャリア向けの顧客料金系技術に加え携帯アプリ、組み込みソフト技術分野のノウハウとを統合することを通じ、今後本格的需要期を迎えるNGN商談に向け、他社に先駆けての機動的な対応と新規案件の獲得、および既存顧客へのきめ細かい対応をはかることであります。

このような状況のもと、当第1四半期連結会計期間の連結売上高は4,566百万円、営業損益は354百万円の損失となりました。また連結受注高は、5,682百万円となりました。

主な事業区分別の実績は次のとおりであります。

a. システム開発事業

システム開発事業につきましては、売上高は2,458百万円、受注高は3,149百万円となりました。

売上高につきましては、各分野において継続案件、新規案件ともに堅調に推移いたしました。特に、ネットワーク監視業務向けシステム開発では、自社パッケージOM (Open Monitor) の受注が好調でした。

損益面では、引き続き開発の効率化、オフショア開発を進め、収益性とプロジェクト品質の確保に努めております。

b. 総合サービス事業

総合サービス事業につきましては、売上高は2,107百万円、受注高は2,533百万円となりました。

売上高の主な分野別状況につきましては、ERP事業は、新規顧客向けプロジェクトの引き合い、受注が好調に推移しております。HP UX関連のインフラ構築事業も好調でした。keyCOMPASS事業のうち、経営とITの統合コンサルティング、システム・インテグレーション事業およびITコンサルティング事業も堅調に推移いたしました。

損益面では、ERP事業やインフラ構築事業においては既存顧客からの原価低減要求が一層厳しくなっているものの、高マージンの期待できる上流部分や請負開発が担える要員の育成と事業シフトを通じ、目標の利益水準を確保いたしました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は以下のとおりであります。

① 流動資産

流動資産残高は、7,936百万円（前連結会計年度末比252百万円減、3.1%減）となりました。主な増減要因は、現金及び預金および仕掛品の増加ならびに受取手形及び売掛金の減少であります。

② 固定資産

固定資産残高は、4,620百万円（同比1,194百万円増、34.9%増）となりました。主な増加要因は、有形固定資産およびのれんの増加であります。

③ 流動負債

流動負債残高は、4,445百万円（同比1,224百万円増、38.0%増）となりました。主な増加要因は、短期借入金および1年内返済予定の長期借入金の増加であります。

④ 固定負債

固定負債残高は、333百万円（同比115百万円増、53.1%増）となりました。主な増加要因は、長期借入金の増加であります。

⑤ 純資産

純資産残高は、7,777百万円（同比398百万円減、4.9%減）となりました。主な減少要因は、利益剰余金の減少であります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における連結キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、1,533百万円（前連結会計年度末比523百万円増、51.9%増）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金は、税金等調整前四半期純損失（495百万円）に加え、たな卸資産の増加（927百万円）、仕入債務の減少（323百万円）などがあったものの、売上債権の減少（2,928百万円）などにより872百万円増加いたしました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金は、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出（309百万円）、定期預金預入による支出（103百万円）などにより389百万円減少いたしました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金は、配当金の支払（149百万円）などがあったものの、短期借入金の純増額（200百万円）などにより40百万円増加いたしました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第1四半期連結会計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成20年5月13日付当社「平成20年3月期決算短信」に発表いたしました平成21年3月期の第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想を修正しております。詳細は昨日開示いたしております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

当社は平成20年4月1日に株式会社クレヴァシステムズの株式を取得しました。これに伴い、株式会社クレヴァシステムズは当社の連結子会社（特定子会社）となりました。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸高を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度にかかる減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法定実効税率をベースとした簡便的な方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,643,565	1,009,702
受取手形及び売掛金	3,107,037	5,635,900
商品	11,283	19,972
仕掛品	2,300,958	1,292,964
その他	916,107	238,228
貸倒引当金	△41,965	△6,943
流動資産合計	7,936,986	8,189,824
固定資産		
有形固定資産	468,091	206,345
無形固定資産		
のれん	804,304	—
その他	247,820	209,233
無形固定資産合計	1,052,125	209,233
投資その他の資産		
投資有価証券	2,760,475	2,819,579
その他	357,032	202,058
貸倒引当金	△17,388	△11,704
投資その他の資産合計	3,100,120	3,009,933
固定資産合計	4,620,336	3,425,512
資産合計	12,557,323	11,615,337
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,079,612	1,312,160
短期借入金	1,100,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	1,109,176	200,000
1年内償還予定の社債	100,000	—
未払法人税等	17,899	338,122
その他	1,039,149	571,358
流動負債合計	4,445,837	3,221,642
固定負債		
長期借入金	318,336	200,000
役員退職慰労引当金	11,710	13,740
その他	3,942	4,366
固定負債合計	333,988	218,106
負債合計	4,779,826	3,439,748
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,737,237	1,737,237
資本剰余金	507,237	507,237
利益剰余金	5,526,910	5,980,929
自己株式	△16	△16
株主資本合計	7,771,368	8,225,387
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△41,897	△49,798
評価・換算差額等合計	△41,897	△49,798
少数株主持分	48,027	—
純資産合計	7,777,497	8,175,589
負債純資産合計	12,557,323	11,615,337

(2) 【四半期連結損益計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間  
(自平成20年4月1日  
至平成20年6月30日)

売上高	4,566,400
売上原価	3,868,461
売上総利益	697,938
販売費及び一般管理費	1,052,697
営業利益	△354,758
営業外収益	
受取利息	3,761
受取配当金	30
その他	3,215
営業外収益合計	7,007
営業外費用	
支払利息	13,501
持分法による投資損失	69,195
その他	8,141
営業外費用合計	90,838
経常利益	△438,589
特別利益	
受取保険金	10,000
特別利益合計	10,000
特別損失	
投資有価証券売却損	17,794
投資有価証券評価損	13,665
その他	35,432
特別損失合計	66,892
税金等調整前四半期純利益	△495,481
法人税等	△204,399
少数株主利益	8,067
四半期純利益	△299,150

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間  
(自 平成20年4月1日  
至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	△495,481
減価償却費	32,757
のれん償却額	10,181
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,015
受取利息及び受取配当金	△3,791
支払利息	13,501
持分法による投資損益 (△は益)	69,195
投資有価証券評価損益 (△は益)	13,665
固定資産除却損	12,286
売上債権の増減額 (△は増加)	2,928,138
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△927,915
その他の資産の増減額 (△は増加)	△431,787
仕入債務の増減額 (△は減少)	△323,941
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△90,842
その他の負債の増減額 (△は減少)	364,688
その他	15,471
小計	1,187,139
利息及び配当金の受取額	30,722
利息の支払額	△16,162
法人税等の支払額	△328,792
営業活動によるキャッシュ・フロー	872,906
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△103,000
有形固定資産の取得による支出	△11,774
無形固定資産の取得による支出	△33,280
投資有価証券の売却による収入	80,833
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△309,608
貸付金の回収による収入	1,444
その他	△13,708
投資活動によるキャッシュ・フロー	△389,092
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	200,000
長期借入れによる収入	200,000
長期借入金の返済による支出	△210,539
配当金の支払額	△149,411
財務活動によるキャッシュ・フロー	40,049
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	523,862
現金及び現金同等物の期首残高	1,009,702
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,533,565

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考」

前四半期に係る財務諸表

(1) (要約)四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金 額
I 売上高	3,810,426
II 売上原価	3,131,136
売上総利益	679,289
III 販売費及び一般管理費	774,683
営業損失	95,393
IV 営業外収益	25,899
V 営業外費用	108,348
経常損失	177,841
VI 特別利益	2,287
VII 特別損失	111,395
税金等調整前四半期純損失	286,949
税金費用	62,574
四半期純損失	224,375

(2) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

区 分	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 税金等調整前四半期純利益	△286,949
2 減価償却費	32,799
3 売上債権の増減額	2,073,225
4 たな卸資産の増減額	△796,701
5 仕入債務の増減額	△383,032
6 その他	△131,554
小 計	507,786
7 法人税等の支払額	△151,742
8 その他	28,052
営業活動によるキャッシュ・フロー	384,096
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1 有形固定資産の取得による支出	△4,363
2 無形固定資産の取得による支出	△14,653
3 投資有価証券の取得による支出	△303,722
4 その他	9,263
投資活動によるキャッシュ・フロー	△313,475
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 長期借入金の返済による支出	△250,000
2 配当金の支払額	△128,835
財務活動によるキャッシュ・フロー	△378,835
IV 現金及び現金同等物の増減額	△308,213
V 現金及び現金同等物の期首残高	1,225,995
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	917,781

6. その他の情報

受注及び販売の状況

(1)受注実績

当第1四半期連結会計期間における受注実績を事業区分別に示すと、次のとおりであります。

事業区分	受注高 (千円)	受注残高 (千円)
システム開発事業	3,149,697	3,720,420
総合サービス事業	2,533,174	3,708,565
合計	5,682,871	7,428,985

(注)上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2)販売実績

当第1四半期連結会計期間における販売実績を事業区分別に示すと、次のとおりであります。

事業区分	販売高 (千円)	構成比 (%)
システム開発事業	2,458,414	53.8
総合サービス事業	2,107,986	46.2
合計	4,566,400	100.0

(注)上記の金額には、消費税等は含まれておりません。